

日神 釣祭

振川 カサゴ稚魚5千尾放流

横須賀の海つり公園で実施

（公財）日本釣振興会 神奈川県支部（山口充支部長）では9月25日（金）、横須賀市立海辺つり公園でカサゴの稚魚放流を実施した。

の、海に放された稚魚は元氣そのもの。しばらくすると海中へと消えていった。放流の効果もあって、カサゴはここ数年安定した釣果を釣りファンの楽しませており、関係者は今回放流したカサゴが順調に育つよう期待していた。

この海辺つり公園は、昨年の台風15号による被害を受け、修復工事が完了するまでの期間、長らく閉鎖されていたが9月11日（金）から開園し、市民ら多くの釣り人が訪れている。ただ、電気設備の故障により工事が完了するまで開園時間を変更、午前5時午後5時までとなっている。

なお、同支部では丹沢水系でのヤマメ成魚放流を10月に予定している。

当日は山口支部長をはじめ、支部事務局を置く（株）ヤマリアの社員らが参加。この日はあいにく強風が吹き、海は時化模様。同公園から望む磯場には波しぶきが上がる状況のもと、（公財）神奈川県栽培漁業協会の鈴木秀雄事務局長らスタッフとともに活魚車から稚魚を岸辺近くまで運び、ヤマリアの女性社員らがパレットに入ったカサゴ稚魚5000尾を次々に放流した。

スタッフにとっては悪コンディションだったも



ヤマリア社員らの応援を受け放流を実施



修復工事が完了し開園した海辺つり公園